

# 生きづらさを抱える児童生徒へのキャリア支援 — すべての子どもが社会で活躍するために —

## 開催日時・場所

2021年11月21日（日） 14:00 - 17:00（受付開始13:30）  
Zoomによるオンライン開催 入場無料 定員 80名（先着順）

## プログラム

- 第1部 基調講演
- 第2部 各講師への質疑・応答
- 第3部 分科会 ブレイクアウトルームにて意見交換
- 第4部 パネルディスカッション  
「生きづらさを抱える子どもが自己実現するために何ができるか？」

## 講師紹介



### 北海道大学大学院教育学研究院教授 横井 敏郎 様

専門は教育行政学・公教育制度論、若者支援政策。現在の主な研究のテーマは、教育機会保障のための公教育制度・教育行政のあり方、教職員配置の実態と制度、包摂的な学校づくりとユースワークなど。主な編著として、『教育機会格差と教育行政』（福村出版、2013年）、『教育行政学：子ども若者の未来を拓く』（八千代出版、第3版2020年）、『公教育制度の変容と教育行政』（福村出版、2021年）。



### 一般社団法人officeドーナツトーク 代表理事 田中 俊英 様

子ども若者支援NPO法人代表(02～12年)、のち一般社団法人officeドーナツトーク代表(13年～)となり、17年度内閣府「子供と家族・若者応援団表彰、内閣特命担当大臣表彰」受賞。子ども若者への支援、NPOや行政への中間支援を行なう。03年、大阪大学大学院「臨床哲学」修了。主な著書に『ひきこもりから家族を考える』等。13年、内閣府「困難を有する子ども・若者及び家族への支援に対する支援の在り方に関する調査研究企画分析会議」委員。



### 一般社団法人kuriya 代表理事 海老原 周子 様

ペルー、イギリス、日本で育つ。慶應義塾大学卒業後、(独)国際交流基金・IOM国際移住機関にて勤務。2009年より、外国ルーツの高校生を対象にキャリア教育やアートプロジェクトなどを行い、これまで500人以上の子ども・若者と接してきた。自身が立ち上げた一般社団法人kuriyaで代表理事を務めるほか、文部科学省外国人児童生徒教育アドバイザー、東京都教育委員会スーパーバイザーを務める。

## 企画者の言葉

本シンポジウムでは、3人の講師をお招きし、参加者とともに、生きづらさを抱える児童生徒へのキャリア支援を考え、すべての子どもが自己実現を果たすことができる社会に向けて、小さな一歩となることを願っています。ご参加、お待ちしております。

（企画代表：早稲田大学大学院 教育学研究科 高度教職実践専攻  
修士2年 鳥巢 晶寛、清水 直矢）



【申し込み先】※要事前申し込み

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd3l8oguoxIauX2aZdO4UgjWTiU6EuMhteSmgdH1ZSSUtmINA/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd3l8oguoxIauX2aZdO4UgjWTiU6EuMhteSmgdH1ZSSUtmINA/viewform?usp=sf_link)

参加をご希望の方は、上記のURLもしくはQRコードより、必要事項をご記入ください。問い合わせは [quartzbird@fuji.waseda.jp](mailto:quartzbird@fuji.waseda.jp)（鳥巢）までお願いします。

